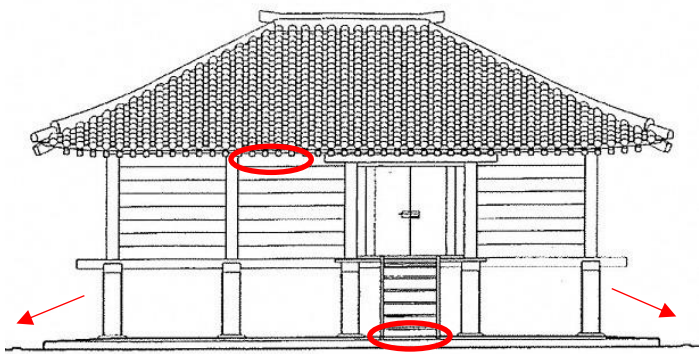
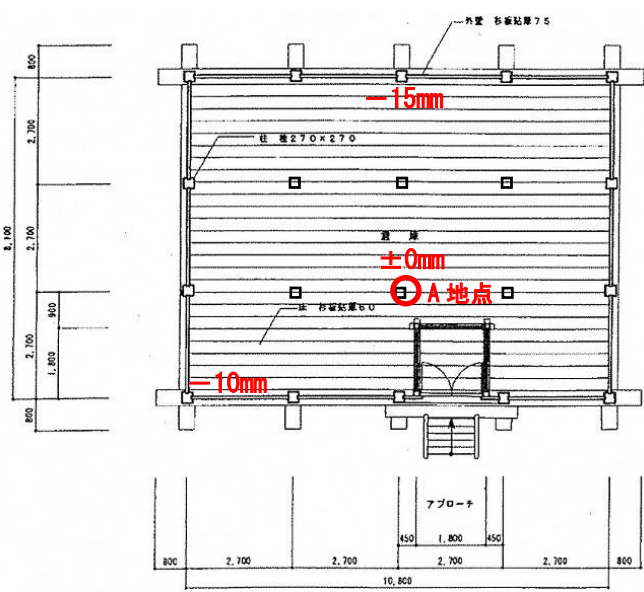


1 被害状況

野外展示「奈良時代の倉庫」の板壁がずれて隙間が生じた。2月20日にオートレベルで床の高低差を計測したところ、図中のA地点に比して南西隅で10mm、西中央側で15mmの沈下が認められた。



板壁の隙間



西壁中央付近の沈下幅測定 (-15mm)



南西隅付近の沈下幅測定 (-10mm)



基礎縁石のひび割れ状況



基礎のひび割れ状況



階段部分のズレの状況（北側から撮影）



階段部分のズレの状況（南側から撮影）



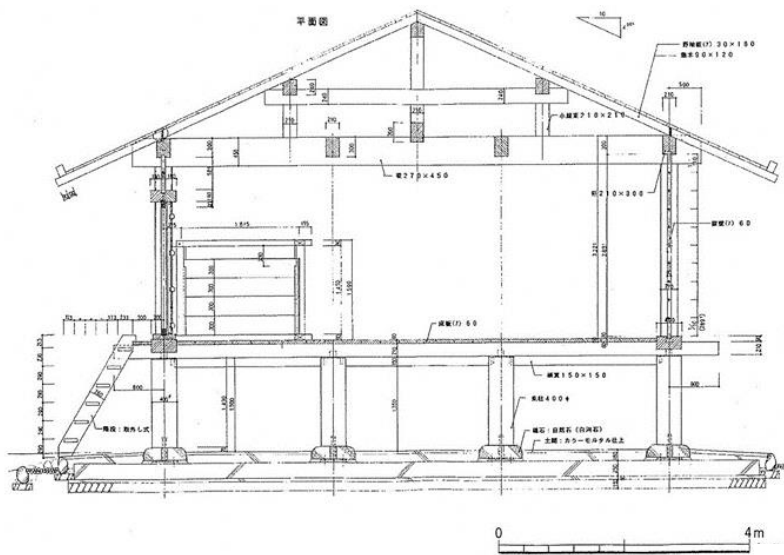
中心部分と西中央梁材の高低差（10mm）



中心付近礎石周りの微細亀裂

また、以前から部分的に発生していた基礎モルタル部分と縁石の隙間が拡大し、階段設置部分の根元にズレが生じた。モルタルと縁石の隙間は基礎の全周にわたっている。基礎モルタル部分にも細かいひび割れが発生している。

2月19日の段階では南西隅側4本の柱が沈下したものと推測していたが、2月20日の調査で上記の所見を得たことにより、建物の周縁部分が全体的に沈下したことが判明した。これにより、板壁に隙間が発生したほか、高床の床板にもゆがみが生じている。



2 修復方法(案)

中心付近の柱礎石面の水準を基準にして全ての柱脚部にパッキン材等を噛ませ、モルタル等による補修を行う。これにより、床から上の水平を確保する。また、基礎モルタルの亀裂と、モルタルと縁石の隙間を埋める補修を行う。